

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和元年度 第1回鳥取市地域福祉計画・地域福祉活動計画 作成委員会
開催日時	令和2年3月26日（木）15:00～16:00
開催場所	鳥取市役所本庁舎 6-3、6-4会議室
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	竹本委員、山本委員、岸委員、池成委員、木下委員、山根裕委員
事務局職員氏名	梶地域福祉課長、小森課長補佐、岸本主幹、奥山主幹（以上、鳥取市福祉部地域福祉課）、相見地域福祉課長、宮崎地域福祉係長、村上主事（以上、鳥取市社会福祉協議会事務局）
会議次第	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議 事 （1）計画の進行状況：今年度の実施状況と来年度の取組について（資料1・資料2） 4 閉 会
配付資料	資料1 計画の進行状況：今年度の実施状況と来年度の取組について 資料2 進行管理（2020年度）（案） その他 参考資料（鳥取市福祉推進計画 概要版（抜粋）、高齢者「集いの場」向け無料出前講座のご案内、協働のまちづくりイメージ、福祉総合窓口説明資料、関係計画の計画期間（鳥取市福祉推進計画 計画書（抜粋））、国の成年後見制度利用促進基本計画の概要、国の再犯防止推進計画の概要）、次第、委員名簿、座席表
その他	関係課出席

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・挨拶</li> <li>・出席者の確認</li> </ul>
岩城委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> <li>・議事（１）計画の進行状況について、説明願いたい。</li> </ul>
事務局	・資料１及び２説明
岩城委員長（進行）	意見や質問等あれば伺いたい。 質疑に移りたいとおもいます。質問等ありませんでしょうか。
H委員	重点取組１の地域福祉活動の推進・支援の（７）の支え愛マップの関係の助成事業を市社協さんが作られたとの記載があります。状況等を予算と執行を教えてください。
事務局	支え愛マップ作りは市の補助と県社協の補助でやっている事業もありますが、それとは別に独自に市社協としてこの助成事業を創設しております。今年度からですので、まだ周知がいつてないところもありますけど、各町内会集落単位で、上限１万円以内で実施しております。 今年度の申請は、まだふたつと非常に少ない状況です。来年度以降、重点集落をしぼって依頼するような取り組みを来年度計画しております。
岩城委員長（進行）	よろしいですか。他にありませんか。
J委員	その他の取組の（７）あたり、市民後見人養成講座修了生の方を生活支援員として雇用。（６）のあたりだと市民後見人の養成をフォローアップすると計画にうたってあるわけですが、実際に終了されて後見活動をされておられる方がおられるのかどうか。後見人の研修を修了された方がどの程度おられるのか教えてください。
事務局	トータルですけれど１６０人、受講されております。 （市民後見人として）実際に活動をされている方は、４人です。
L委員	後見人はされていないが、自立支援事業の支援員をされている方もありますよね。
事務局	支援員（の数）については、本日、資料を持ち合わせていないです。
L委員	でも、支援員が条件ではなかったですか。後見人されてなくても自立支援事業の支援員さんをやってください。違いましたか。
事務局	条件ではありません。
L委員	されてる方がいるのは、事実ですよ、たしか。鳥取市さんはまた、次回詳しく教えてください。
岩城委員長（進行）	他の方ありませんか。

議事内容（要旨）	
A 委員	来年度の重点事業の中で、まちづくり協議会、公民館、地区社協（地区社会福祉協議会。以下同じ。）の活動状況がありますが、そもそもやる狙いは何ですか。教えてください。
事務局	それぞれの地区で、さまざまな活動をしていると認識しております。 熱心な所とそうでない所とあるのかなと思います。熱心な所についてはどういった事をやれば活動が盛んであるかという所を調査していきたい。 活動が盛んではない所は、逆にどういった所に問題があってできてないのか。組織が出来てないのか、活動自体が大事なのか調査していきたい。 地区のほうでどういった組織があってどういったことをやっているのか、そういった聞きとりを行っていききたいと思います。
A 委員	全地域でない。
事務局	全地域で、それぞれどういった組織があるのか。調査を行う予定にしております。その中で、例えば、地区公民館でいろんな活動が熱心なところであれば、活動にどういった方が中心になっているのかといったところを調査していきたい。 各地区で、まちづくり協議会、公民館、地区社協がどういった活動をしているのか、どういった組織体制にしているのか、調査をしていきたい。
岩城委員長（進行）	よろしいですか。 他の方ございませんか。
A 委員	地区社協のかじと、公民館のかじと、まち協（まちづくり協議会。以下同じ。）のかじと違うんです。 地区社協は、旧町村域でひとつになっている。まち協も公民館も地区（公民館）単位であります。そこらへんのことも頭にいれてもらっておくといいのかな。
事務局	ご指摘のとおり、それぞれ地区社協、公民館の活動地域が重なっている所もあれば、重なってない所もある。そういったところをふまえて、調査していきたいと思っております。
岩城委員長（進行）	よろしいですか。 他の方ございませんか。
L 委員	時々、この地域福祉計画がわかりにくくなるのは、行政がいろんなサービスや地域の福祉を提供しますよ、という話の仕組みが地域福祉の本質とあっているかどうか。 地域福祉は、福祉を受ける人と提供する側、行政と住民ということではなく、（住民が）まちづくりや自分達に何が必要で何が足りてないか、考えてその地域を活性化させようというのが本質ではないかと思っております。 そのためには、行政なり、市社協なりがいろんなサービスや人材をいただくのはいいんだけど、地域福祉の根幹となる、（住民が）求めているものを地域の皆さんに知っていただくのが一番大事ではないか。そうしないと、介護保険のことや母子の問題、障がいの問題と、地域福祉というのは、誰でも必要になるし、誰でも提供する側になり、お互いの相互関係がイコールになるものがここにあるのに、今、沢山の福祉、福祉という言葉にうもれていく気がする。

	<p>ほんとの地域福祉のねらいというのは、行政から提供されることだったりではなくて、おらがむらをどうするかを一人一人が本気になって、考えることじゃないかなと思うが、計画としてまとめると薄れていってしまう。ひとつひとつの計画の主旨であったりとか、資金であったりとか、人材であったりとかの話になってしまって、ほんとに人が動けるのか、一人一人が自分のこととして動けるのかどうかというところが、（伝わらないので）もう少し啓発活動に力を入れたらどうかなと思います。</p> <p>（地域福祉とはなにか）というようなところから地域住民の方は始めないと、（委員のみなさんは、）それぞれ最前線にたっておられる方ですので、いきなり地域福祉ですとってすむのでしょうか、ふつうの住民の方にはわかるのだろうか、と疑問をもっております。</p> <p>できれば、地域の活動や町内会の集まり、いろんなサロンのなかで、「地域福祉って、こういうことなんだで」と、教えていただける、語っていただける会を増やしていただくことが第一でないと計画がなかなか推進できないと思う。</p>
M 委員	<p>大事なところを指摘いただきました。</p> <p>そもそもこの地域福祉推進計画の根幹は、住民がこれまでサービスの受け手という立場を超えて自らが地域をつくりながら、福祉を高めていくというところにして、まさに我が事として、地域福祉に参画していく住民をどれだけ増やせるのかが一番大事な、コア中のコアです。</p> <p>その考えからいくと、先ほども少し話がありましたけど、この計画の中で非常に重要な位置をしめているのが地域の担い手づくりになる。計画では地域の福祉ネットワークとして位置づけられているもので、要は、本気になった人たちが自分達の地域をどういうふうに高めていこうかと考えて、動ける組織体制を作ることが、計画の成否を分けるといえる。</p> <p>それを作っていくうえで、コーディネーターについて、少しお伺いしたい。</p> <p>具体的にどういう風に推進していこうとしていたのか、そのへんを来年度とか再来年度とかいって、ビジョンがあれば教えていただきたいと思います。</p> <p>資料3が説明資料と思いますが、気になったところで、ネットワークは大事なのですが、今後は地域が主体となっていていろんな活動を地区で行っていく担い手となる組織、地区ボランティア組織が必要とこの計画を作った時に議論していただいたとおもいますが、位置づけがこの図に見えてこないのか、そのあたりをどうなっているのか教えていただきたい。</p> <p>まず、福祉ネットワークについてのこれからの展開とボランティア組織の位置づけとか細かいところを教えてください。</p>
事務局	<p>先ほどの一点目ですけど、三地区に配置という予定で、予算の要求をさせていただいたのですが、予算としては実際のところは付いておりません。これにつきましては、担い手の確保などから将来的なことを考えても、一律に予算化するのではなく、取り組みが進んでいる地区の担い手を確保している体制、仕組みに倣うほうが重要ではないかということです。</p> <p>実際にどういう活動を地域がしているか、それぞれの地区がどういった形でまちづくり協議会が構成され、どういう活動をしているのか詳細を調査したうえで</p>

	<p>改めて再検討を行う予定にしております。来年度からは実際に取り組みが出来ていないというところです。</p> <p>資料3につきましては、まちづくり協議会のほうがどういった機能をもっていかについて、地域福祉ネットワークをまちづくり協議会の中にも含める形で機能を果たしていこうというところです。</p>
M 委員	<p>ありがとうございます。良くわかるんですけど、今後の担い手は地域で活動出来るか。体制を作らないといけないので、ネットワークの議論をした時にもいろいろな団体のリーダーが集まるネットワークだけではだめで、実際に活動を担ってくださるボランティア組織を地区単位に作っていかないと、新たな活動、（例えば）常設型のサロンや見守り体制を誰がやるんですか、となり、結局、何も決まらないし何も出来ない。これまでの鳥取市の地域のあり方と何ら変わらないのではという事になりはしませんか、と、これが私がいいたいことなんです。</p> <p>それをさらに動かしていくには、コーディネーターさんの役割、そのコーディネーターさんがボランティアではなく有給職員さんを置かないと回らないでしょ。という議論をしてきた。</p> <p>仕事が多すぎるのではないかと、議論しているところが良く分からない。</p> <p>ちゃんと、お金を払って有給職員さんにこれだけの仕事をしてもらうんだという方向性がある。でもやってもらう仕事が多いのであれば、その担ってもらう分だけの給料を支払うのか議論があればいいのですが、いったいなぜどうして前に進まないのかが見えない。とても大事なところでもあるにもかかわらず、スタートラインでもたついている。結局、前に進んでいないようにみえるので、いったいどういう議論がなされているのか少し教えて頂けないでしょうか。</p>
事務局	<p>M 委員のご指摘のとおり、地区ネットワークのコーディネーターにつきましては、今年度の成果としては出ていないところでございます。これにつきましても計画作成の中でも地域によってさまざまな活動体制があって、その中でも地区を選んで、モデル的に設置し進めてどうかと。そういう狙いで事業を進めようとしておりましたところです。</p> <p>この地域によっていろいろありますといういい方までしか、地域を把握できていなかった。そういうところがすごく反省点あります。</p> <p>そこがありましたので、令和2年度は調査から、まず地域からどういう事をやっているのか、地域でまったくやっていないわけではありませんので、健康づくり体操なども、毎週やっておられる地域もありますし、何個もやっておられる地域もありますし、いろいろあるけど、その結果を見て、地域それぞれに合った支援を構築する予定です。</p> <p>（地区ネットワークのコーディネーターの配置について、）地区公民館単位や地区社協単位、どういう単位で、最終的に配置するのがよいか、全地区に必要なのかということもあります。計画説明を行ったところでも自分達はやっているから、（地区ネットワークのコーディネーターのような）そういう役割はいらないと、はっきりいわれた所もございました。最初出発点で地域にしっかり説明をしていなかった所が一番反省点であります。</p>
M 委員	<p>有難うございます。</p>

	<p>私はもっと横目で見ている、すごく勿体ないなと思ったのは、この計画が出来て、その計画の表しもすごい熱い議論をして、熱を持って地域に入りしっかりお伝えするという事を計画が出来てすぐに、取り組まれたのかなと思いきや、それがずっと今もそれが十分に行われていない。いるとはいえない状況です。</p> <p>私は今年度、南部町に入らせていただいている、南部町も高齢化が進むなか行政だけでは担いきれない、どうやって地域と課題解決をやっていくのか議論をしていくなかで、町として今後は地区単位に福祉機能を集約していくしか方法はないと思われて、南部町には地域振興協議会の組織が七か所に町内全域におかれているわけでありまして。そこは社協さんのライン二つに分かれて福祉活動は行われていて、社協ラインのほうを地域福祉推進委員さんの役員さんを置いて、サロン活動とかやっていただいて、そういう機能を全部地域振興協議会の中に移して、地域振興協議会をさらにコーディネーターを1名追加して、機能強化を図っていく、非常に大きな方針をたててこられました。その際に、行政の方も町社協の方も全部の地域振興協議会の中に入って、住民懇談会をやっておられる。その中で真剣に膝つきあわせて、住民の方と話をしようという形が必要だなというところまで話をしっかり議論して、それを計画に落とし込んでいく形をとっている。</p> <p>皆さんが必要性を理解したうえで、計画がちょっとづつ出来ている流れになっている。鳥取市の場合はそこまで出来なくても、少なくとも大きなビジョンが決められているわけですから、住民の方と共有していく、理解が進んだところで、やっていきたいと思いますという形で、現状をさらに深く分析し、どういうふうな地域でしていけばいいのか。そういう進め方をしてほしいと思っています。</p> <p>なにか市が地域に入り込めていない印象が非常に強い。そのあたりはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>そういう膝をつきあわせてとかいう、深い所まではなかったかもしません。</p> <p>19地区の所には計画を説明させていただいたところですが、大事なところで計画（の対象）は非常に範囲が広いところでもありますので、なかなか伝えきれないというところもあったと考えております。</p> <p>協働のまちづくり推進本部、協働推進課のほうで事務局を担っている会議ですが、そこでも、まち協（まちづくり協議会。以下同じ。）でありますとか、公民館からの意見を聞きながら、こういうイメージ図も提示しながら、進めているところです。まち協と公民館に取り組んでおられる地域も3地域あるようです。そういう流れとも合わせながら、進めていかないといけない。市全体といたしましては、そういうふうに感じているところです。</p> <p>L委員さんのほうからもありましたが、地域福祉というものが何か。まず、住民の方に伝えるのが非常に難しいなと。地域福祉というのは、介護のことであるとか、障がい福祉のことであるとか、そういう給付的なものではなく、福祉といえば給付的なイメージが強いですが、そうではない「まちづくり」につながるものだとすることをどうやって伝えるのか、原点に戻ってまして進め方に迷っている、詰まっている。</p>
M委員	<p>私も作成メンバーとして関わっている一人ですので、今年度、市の職員さんが研修に行って、一度呼ばれておりますけれど、それ以外、市からお声かけをいた</p>

	<p>だいていないので、もしお困りであれば専門家の言葉が大事だと思います。遠慮なく私にお声かけいただければ、具体的にどう進めていけばいいか、私なりの考えがアイデアとしてお伝えできると思いますので、ぜひお声かけいただければと思います。他地域でかなり取り組みが進んできているのも事実ですし、そういう情報もお伝えできるだろうと思います。</p> <p>追加で質問があります。</p> <p>鳥取市の一つの特徴としてこの計画作っていくのと併せて、地域福祉相談センターというのが出来たはずです。</p> <p>市内の十か所くらい置かれたようです。そちらのほうは実際、どのように機能しているのでしょうか。作りばなっしになっていませんか。私なりに気になった所がありまして、現状を教えてください。市として今後、地域包括支援センターを増設という方向性があります。それと地域福祉相談センターはどのように連動していくのか、そのあたりのビジョンがありましたらお教えいただきたい。</p>
事務局	<p>地域福祉相談センターであります。平成30年11月29日に開設させていただき、当初23か所。全中学校区に設置しました。</p> <p>市社協の（総合福祉）センターにも設置しているので、一つの地区に複数あるところもございます。今年度4月から2か所、追加され今25か所というところ。そのセンターになっていただいている職員については、パーソナルサポートセンターの相談支援員を講師として、研修を行い、いろいろ課題に対応等、ワーキング協議を行っているところでございます。</p> <p>相談件数につきましては、途中経過でまだ全部ではないところですが、1月末で245件の相談で、相談内容といたしましては374件です。</p>
M委員	<p>地域包括支援センターの今後の体制の変更等どう連動していくのかビジョンがあれば教えてください。</p>
事務局	<p>今、具体的に地域包括支援センターは、長寿社会課のほうで、10か所に増設の構想で動いていこうというところでもあります。</p> <p>そここの相談センターとの繋がりにはありませんが、地域相談センターは、さまざまな課題、相談を受ける位置づけで、高齢者の方だったら包括に、障がいの方だったら障がい相談センターにと、繋げる役割でございまして、特に包括支援センターと連動したことは、今は考えておりません。</p>
M委員	<p>私は市民の目線にいるんですけど、市民の目線から見て相談窓口があちこちいくつもあるという状況が、大変、好ましくないと思います。</p> <p>縦割りを排せも地域共生社会がいつている大きなテーマだと思います。それを踏まえてみると、このように乱立することがいいのか。良い面もあります。窓口を広げて情報をすいあげていく意味では良いと思う、専門職レベルだといろんな所から情報をすいあげる発想はいいですが、市民レベルからだとなら誰に相談したらいいのか、になる。分立しているのは、必ずしも好ましくないし、私は、総合相談窓口は各地域にあるのが地域包括支援センターであるのであれば、地域相談センターにあるというのが、住民目線からすればわかり易いのではないかという意見をもっております。</p> <p>しかし、今25か所という、動かし方をされていて件数はそれなりにあるとす</p>

	れば、住民が直接相談にこられていて、専門職が相談を把握しているのカウンタされていることだと思います。実質的に住民の皆さんが窓口に行って相談している件数ではないはず。そのあたりも本当にこれでいいのか、検討してほしい。今のこのまま、変更なしでいくんだとスタイルで今後もいくのかそこを教えてください。
事務局	この相談の件数は、この設置している所が主に介護事業者さんの所ありまして、従来の介護事業での相談は含めておりません。それ以外のところ。です。
M 委員	住民の方が、窓口で足を運んでこられた件数ですか。
事務局	はい、そうです。
M 委員	では、それだけ周知されているという理解でよろしいでしょうか。
事務局	まだまだ、件数的には足りていないと考えております。
M 委員	高齢者以外の方で相談窓口でこられた、地域相談センターにこられたと読み替えていいですか。
事務局	高齢者課題も含まれています。 介護事業、支援センター的な介護サービスにつなげる具体的な相談ではない。一般的な相談も入る、カウントしております。
M 委員	介護サービス以外の一般的な相談を受けて、そのうち介護サービスについては地域包括支援センターにまわしている。それ以外のことを対応しているよろしいですか。
事務局	介護関係でしたら、包括支援センターに繋げる。障がいのことでしたら、障がいには繋げる。認知症のことでしたら、さきほどの「かけはし」につなげるようにしております。
M 委員	25か所にひろげて現状とすれば、市としては成功していると理解してよろしいですか。
事務局	まだ成功というところまでは考えておりませんが、身近な相談窓口として複数あったほうがいいと。たしかに乱立ということもありますが、一番近い所に相談に行けば、どこかに繋げていくような体制づくりをして一応成果はあがっているのかと感じております。
M 委員	有難うございます。私なりに調べてみたいと思いますので、今の説明を受けて私なりに確認したいと思います。
L 委員	私の所、やっているのですが、実態として報告を受けたのは8050みたいな金銭的、ネグレクト、搾取、DV の相談もありました。それは介護保険事業とは違うと。それから生活困窮の方がこられて、生活保護やサービスの事を聞きにこられました。子ども食堂のことについても説明を受けたいと紹介したこともありますので、高齢者ばかりではないけど、やっぱり一番多いのは高齢問題で、サービスはどうしたらいいのだろう、と。 地域からは公民館活動みたいところで、介護教室をやりたいがどこに相談したらいいか。そういう話は沢山あります。従来からきています。そういう相談窓口にしたいと間口はちょっと広がったと思いますが、まだまだ想定していたほどではないというような気がしています。
K 委員	先ほど相談のお話しがでておりましたけど、用瀬人権文化センターでは、相談



	<p>を受けた実人員が45、延べ人数でいえば200弱、180といった形です。いろんなところを介して来られたり、本人が直接こられる場合もあります。行政関係を介してこられる場合もございますし、近所の方がこられたり家族の方がこられたり、親戚の方が心配でこられます。小中学校から子供の相談案件、保護者の教材費の未払いという相談があったりします。多岐に渡っており、高齢者だけではなく、生活困窮者、障がい者の問題。先日、たぶん認知症であろうの方が道に迷って道を聞かれて「こちらではないですよ」といえば違うところに行かれる。最終的には道案内をしてい連れていくという案件もあったりします。行政の方も考えておられると思いますが、こういう所だけでなくいろんな相談場所があればいいのかなと思います。そういう所とも連携しながら、やっていければと。市社協であったり地域包括支援センターであったり、相談支援サポートセンターを作っていかれるのもいいのですが、人権福祉センターの案件等、サポートセンターでの相談、専門的な方もおられたり、スキルアップ研修でいろいろ深めておりますので、連携されてより困った方が困らないようにしていくことが大事なのかなと思います。</p> <p>先ほど、M委員から地域に浸透させていくことが大事とありました。私どもの町では25集落でいきいきサロンがあります。昨年からいきいきサロンに出前ミニ講座みたいな形で話をしに行っています。市社協の職員と地域の中に出向いて行く。高齢者に来てくださいより、集まった中に出向いて行き研修をしていくことも大事なのかなと思います。今後もやっていきたいと思っています。</p>
岩城委員長（進行）	B委員どうぞ。
B委員	<p>資料の3を御覧頂きたいと思います。</p> <p>地域福祉ネットワークの地域学校協働本部、地域防災とかいろんな団体関わってすることの中に、（地区で）完成した事業があります。</p> <p>地域創造学校運営委員会これは名前が違っても、学校についてから取り上げておりました問題であります。我が地区では2年間かけて年に6回会議を行い出来上がりました。結局、PTA、青少年、地域の7名の委員が出ております。学校の集まり、何度も何度も話し合った結果、地域で子供達を見守る形が出来上がりました。</p> <p>（地区ネットワークは、）それと大きな違いはないと思います。地域で高齢者を守る、子供達を守るとの違いがあって、地域青少年育成事業部の中に入れて、地域全体で子供達をどこで見守るか協議をずっとしてまいりました。4月から確実に実践に向けて出来上がったというのは地域で頑張って話しをしないと、教育委員会であったり市であったり市社協であったりではなく、地区だと思っています。地区の皆様でいろんな団体で話し合えば、何とかなるのではないかと。</p> <p>地域創造学校運営委員会に関わってとても良かったと思っています。どういう形になるのかわかりませんが、子供達は地域で守る。老人会に入り、いろんな団体に入って子供達を守っていくという形が出来あがっていく。大きい違いはないと思います。地域で、みんなで関わっていけば、このまちづくり協議会の中に福祉ネットワークが出来るとのではないかと。いろいろ皆さんのご意見を聞きながら感じておりました。</p>

	<p>ちょっと形は違いますけれど、しっかりと話し合えばそれなりの事業ができると感じております。</p>
岩城委員長（進行）	<p>有難うございました。 各地域にB委員みたいな方がおられるとと思いながら、聞いておりました。</p>
B委員	<p>私は委員長ではありません1委員として、やはりまち協であるとか公民館長であるとか、そういうトップとの先生との集まりに出まして、とても会を重ねないと出来ません。そして大学もありますので、大学の先生、退官された方も含めまして、いろいろな話を重ねてきた結果が今日に至ったと思ひ参考までに申しあげました。</p>
岩城委員長（進行）	<p>また来年度、詳しく聞かせていただきたい。</p>
L委員	<p>地域包括ケアもそうなんですけど、地域福祉ってどなたか情熱のある方と使命感のある方がリーダーシップをとっていただくことが一番の柱になっていくと思いますが、実はそこにはその方の個人の熱意であって、M委員がいわゆるようにコーディネーターがそういったものを職業とってはいけないが専門家のプロとしてあればいいなと思います。 そういう方を育成していくことが、この計画の主旨でないかと思ひます。</p>
B委員	<p>結局、コーディネーターを一人雇うだけのお金を教育委員会に出していただけることが出来たんです。交渉で、そういう相談を持ち掛けながら、地域ではだめなこともありますし、コーディネーターを入れて公民館に駐在していただいて、全部、まち協でありますとか自治会でありますとか、巻き込んで実践することが出来ております。</p>
岩城委員長（進行）	<p>時間もきておりますし、（私の経験から。） 私の町内もばらばらの町内だったんです。出来たのは45年～50年です。まとまったのに2年間。 ひとは平成28年、火事で高齢のご夫婦が亡くなったんです。その時に警察に聞かれて町内会長以下誰も連絡先がいえなかった。これで、なんとか少しまとまった。もっとまとまったのは、翌年29年のあの大雪です。誰も出勤できなくなって、皆で雪かきをしました。はじめて40何名いて、初めて口聞いた人がいて話をした。まさに地域福祉というのは、最初ご挨拶でいった、みんなが理解して、繋がります。B委員のような熱意のある方がリーダーシップをとっていただいてうまくいく。M委員がいわれるとおりそれぞれのコアな鍵になるような行政なり市社協のサービスが一体になるようにしていただけたらと思ひますので、これで終わらせていただきたいと思ひますけど、また皆さん継続して、来年度も集っていただけたらと思ひますので、意見をまた時間ももう少し長くっていただいて調整して頂きたいと思ひます。 今日はこれで終わらせていただきたいですがよろしいでしょうか。 事務局は何かございますか。来年の予定みたいなのはないですか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の予定説明</li> </ul>
岩城委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉会</li> </ul>